

年間指導計画

教科 地理歴史		科目 世界史 A		履修対象年次 1 年次		単位数 2	
科目担当者 松永正史 播正圭史							
身に付けられる力		・近代史の社会的事象についての知識理解 ・歴史的な思考力 ・歴史的な判断力 ・資料活用 of 技能					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力		
1 学 期	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの近世近代社会のはじまり ・大航海時代 ・ルネサンス ・宗教改革 ・主権国家体制の形成 ・絶対王政と議会王政 ・世界商業の進展 	大航海時代による商業の発展とヨーロッパ勢力の世界貿易ネットワークの構築を理解する。 ヨーロッパにおける近代社会の胎動としてのルネサンス・宗教改革を理解する。 ヨーロッパに成立した主権国家体制や絶対王政と議会王政の特色、世界商業の進展と大西洋貿易の動向について学ぶ。 大西洋三角貿易の歴史的意義を知る。	社会的事象についての知識理解 歴史的な思考力 国家のあり方について主体的に考察する力 歴史的意義を考察する力		
	5	8					
	6	8					
	7	4					
	8						
2 学 期	9	6	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命 ・産業化と社会 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ナポレオン戦争 ・ドイツ・イタリアの統一 	イギリスで産業革命がおきた要因について学ぶ。また産業革命の結果、資本主義が確立して資本家が成長するとともに社会問題や労働問題が発生したことについて学ぶ。 アメリカ独立革命からナポレオン戦争にいたる過程とその歴史的意義について背景となった啓蒙思想の内容も含めて理解・考察する。	歴史的な思考力 歴史的意義を考察する力 社会的事象についての知識理解 歴史的な思考力		
	10	8					
	11	8					
	12	6					
3 学 期	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィーン体制 ・ウィーン体制の動揺 ・1848年革命（フランス二月革命） ・アメリカ合衆国の発展と南北戦争 	19世紀前半ウィーン体制が動揺・崩壊していく過程について、各国の自由主義とナショナリズムの展開を知る。 19世紀後半のイギリスとフランスの内政・外交について理解する。19世紀アメリカにおける西部開拓の進展と南北戦争による社会の変化について学ぶ。	資料活用 of 技能 歴史的意義を考察する力		
	2	8					
	3	4					
合計時数		70					
教科書 副教材		世界史A(東京書籍) ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）					
評価の観点・方法		定期考査の結果に、授業への取り組み姿勢等を加えて評価する。					
履修上の注意点		なし					
特記事項等		なし					